



好きを、編む。
那須塩原市



令和8年度 那須塩原市市政運営方針 (概要)

令和8年2月

那須塩原市長 渡辺 美知太郎



好きを、編む。

那須塩原市

1 はじめに

平成17年1月の那須塩原市誕生から20年が経過し、那須塩原市に関わる全ての人々と共有したいコンセプトとして、昨年3月に那須塩原市のパーパス「好きを、編む。」を策定しました。先人たちが築いてきたこのまちを子や孫やその先にずっと元気なかたちで受け継いでいくために何ができるか、ワークショップやインタビューイベントを通じて那須塩原市に関わる多くの方々と対話や議論を重ね、策定したものです。

このパーパスを軸に、市の付加価値やブランド力を高めるとともに「住んでいけば生き延びられる」那須塩原市を実現し、将来世代へ受け継いでいく、そのための取組を進めております。

市民及び議員の皆様には、本市の市政運営に更なる御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



2 令和7年度の総括

好きを、編む。

那須塩原市

◆移住促進と地域ブランディングの強化

▶地域ブランディングの強化

パーパス「好きを、編む。」を軸に、名刺を活用したパーパスの普及やイベントへのブースの出展など、認知度向上に向けた取組を進めてきた。

▶移住促進の強化

移住促進では、那須地域定住自立圏移住ポータルサイト「那須にすんで、」を構築し、近隣市町と連携した取組を進めている。

◆那須塩原駅周辺のまちづくりの推進

▶那須塩原駅周辺のまちづくり

まちづくりフォーラム那須塩原～「駅前（まち）は歩いてたのしいか？」～やプレイスメイキング社会実験を実施し、引き続き駅前広場や大通りなどの公共空間と民有地を含めた一体的な空間の在り方を検討している。





2 令和7年度の総括

好きを、編む。

那須塩原市

◆環境政策と持続可能なまちづくりの推進

▶「2050 Sustainable Vision 那須塩原」の実現

ネイチャーポジティブ那須野が原アライアンスにおける企業・団体との連携推進、那須塩原市サステナブルセンターの設置等の持続可能なまちづくりに資する取組を進めている。



◆官民連携事業の推進

▶セブン-イレブン・ジャパンとの連携

国立公園の自然環境保全のための寄附金付き電子マネー販売や那須塩原牛乳を使用したオリジナル商品の発売を実施した。

▶八芳園との連携

TAKANAWA GATEWAY CITYでの那須塩原ブランドの販売等プロモーションや、日本遺産構成文化財「松方別邸」と連携したイベントを開催するなど、市内外で戦略的な魅力発信を展開したほか、相互の人材交流も実施している。





2 令和7年度の総括

好きを、編む。

那須塩原市

◆その他着実に取り組んでいくもの

▶市民との協働による未来創造

引き続き市民懇談会や市長とのわくわくトークを実施したほか、那須拓陽高校生がアレンジしたオーストリアの伝統菓子の「リンツァーアウゲン」を大阪・関西万博オーストリアパビリオンレストランで販売するなど高校生との協働にも取り組んだ。



▶その他

- Green Destinationsアワードにおいて関東地方では初のシルバーアワードを受賞
- スポーツツーリズムの取組としてウクライナ・リトアニア選手団の東京2025世界陸上事前キャンプの受入れを実施
- 第6回日本子育て支援大賞を受賞
- 学びの多様化学校プリズムの実現に向けた取組
- 公共施設マネジメントの推進では、旧寺子小学校及び旧ひがしなす保育園の民間事業者による利活用を推進





好きを、編む。

那須塩原市

3 令和8年度の市政運営の基本的な考え方

◆我が国を取り巻く状況

- ▶ 頻発する自然災害や甚大な被害が想定される大規模地震への対処
- ▶ 老朽化したインフラの保全、エネルギー・食料・経済安全保障の確立
- ▶ 力や威圧による一方的な現状変更の試みや保護主義的な動きが見られる国際環境
- ▶ 市民生活においては原材料価格の高騰等による物価高が続く

◆地方創生2.0基本構想に基づく「地方創生に関する総合戦略」

- ▶ 人口・生産年齢人口の減少を正面から受け止める
- ▶ 人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じる
 - ☑ 自立的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出
 - ☑ 生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出
 - ☑ 若者や女性にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人一人が幸せを実感できる地方を創出

⇒付加価値創出型の新しい地方経済の創生の推進などが求められている。



好きを、編む。

那須塩原市

3 令和8年度の市政運営の基本的な考え方

本市の政策について

移住相談は年々増加し、7年連続転入超過

子育て支援

教育環境の充実

福祉サービスの
拡充

市民生活の基盤となる分野における質の高いサービスの提供と
次世代の育成とのバランスが重要



引き続き、総合計画に掲げた4つの重点推進テーマ及び
「若者・女性から選ばれる地域」の着実な推進を図る



市民一人一人が「好きを、編む。」ことができる環境を整え、市民の幸せ(Well-being)を向上させていくため、地域の付加価値を高めていく施策を進めていく。



4 令和8年度の主要施策（実施計画事業抜粋）

好きを、編む。

那須塩原市

特色のある教育・子育て、 ウェルネス（ニューノーマル）

学びの多様化学校（分教室型）設置事業

分教室プリズム整備、維持及び活動運営

小・中学校体育館空調設備整備事業

空調設置・遮熱工事（中学校4校）、設計業務（中学校4校）

ヤングケアラー啓発・広報事業

児童生徒向け講演会、リーフレット配布、啓発イベント

ひきこもり支援事業

ひきこもり地域支援センター設置

障害者就労支援コーディネーター設置事業

障害者就労支援コーディネーターの設置





4 令和8年度の主要施策（実施計画事業抜粋）

好きを、編む。

那須塩原市

協議体が目指す未来予想図



那須塩原駅周辺まちづくり推進事業

那須塩原駅周辺まちづくりに関する基本設計業務、
地形測量業務、民間活力活性化等支援業務、
エリアプラットフォーム構築等支援業務

那須塩原市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画推進事業

用途地域見直し、都市計画道路見直し、地区計画見直し等の検討

観光マスタープラン推進事業

観光マスタープラン進捗管理、法定外目的税導入の検討

シティブランディング事業

ブランドプロジェクト運営組織の構築、デザインマネジメント

那須塩原駅周辺のまちづくりなどの
県北拠点づくり（県北拠点づくり）



4 令和8年度の主要施策（実施計画事業抜粋）

好きを、編む。

那須塩原市

サステナブルビジョン（ゼロカーボン）

ネイチャーポジティブ那須野が原アライアンス（NPNA）における企業連携事業

企業間連携によるネイチャーポジティブに関する取組

自然環境保護地区拡張事業

新たな生息地保全協定の締結に向けた取組

脱炭素に係る地域企業連携

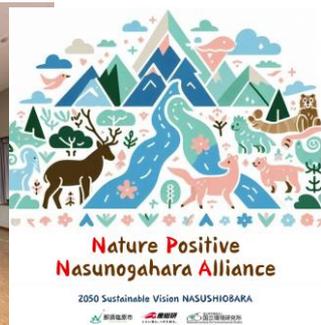
市内企業の脱炭素に関する取組を促進するための支援

サーキュラービジョンに基づく資源循環の取組

CEビジョン、アクションプランの策定、新たな資源循環事業の展開

クマ対策事業

人の日常生活圏に出没したクマ等への対応、
クマに対する市民の意識啓発





4 令和8年度の主要施策（実施計画事業抜粋）

好きを、編む。

那須塩原市



教育DX推進

セカンドGIGA端末更新、教職員ネットワーク認証基盤更改、電子黒板更新、校務支援システムクラウド化による更新

学校開放予約システム導入事業

学校開放施設予約システム導入及び管理業務

交通系ICカード導入事業

ゆーバスへの交通系ICカード決済サービスの導入

介護認定照会システム導入

介護認定照会システム導入、運用

BPR業務分析等支援事業

業務手順書整備、BPR分析システム運用、意識改革、BPR手法習得のための職員研修の実施

デジタル・トランスフォーメーション（DX）





4 令和8年度の主要施策（実施計画事業抜粋）

好きを、編む。

那須塩原市

若者・女性から選ばれる地域

移住・定住促進事業

移住希望者に対するPR及び移住施策等情報発信事業、移住後支援、移住者向け補助事業、那須地域定住自立圏移住・定住サポート事業

夏季短期留学支援事業

台湾のインターナショナルスクール（Ivy Collegiate Academy）の Summer Studiesへの短期留学支援

国際交流事業（姉妹都市提携10周年記念事業）

リンツ市青少年訪問団歓迎式典の開催、市長のリンツ市公式訪問

子育て世代に係る医療費助成手続のオンライン化

子育て世帯支援のための窓口業務DX、高校生年代の児童の医療費を償還払い方式から現物給付方式に変更





好きを、編む。

那須塩原市

5 むすびに

那須塩原市は誕生から20年という節目を経過し、今年は22年目となります。この間、地方行政を取り巻く環境は厳しさを増しており、本市の人口も平成22年をピークに減少に転じています。転入・転出の状況では、本市は7年連続の転入超過となっていますが、引き続き移住・定住先として本市が選ばれるためには本市の魅力をさらに発信していくことが必要です。そのため、昨年策定したパーパス「好きを、編む。」を軸としたシティブランディングを推進してまいります。また、合併時の新市建設計画に記載された新庁舎建設については現下の物価高騰に鑑みスピード感をもって着実に進めているところであり、あわせて那須塩原駅周辺についても県北の拠点にふさわしい使いやすく人がにぎわうまちとなるよう取り組んでいるところです。

今後の市政運営においては、市民の皆様がなすしおぼらLifeを満喫し、市民の幸せ（Well-being）を実現できるよう、さきに掲げた主要施策などに取り組み、付加価値を高め、持続可能なまちづくりを進めてまいります。